

平成 23 年度卒業生アンケート調査報告

I 調査の目的と方法

自己点検・評価委員会では平成 23 年 3 月の本学卒業生に対し、在学期間中の（１）学修、（２）学生生活、（３）学園の施設・設備、（４）総合評価のそれぞれについて、卒業式の当日（平成 23 年 3 月 15 日）にアンケート調査を行った。その集計結果がまとまったので報告する。

なお、このアンケート調査は、平成 14 年度以来継続している卒業生調査の延長線上にあるものである。

調査の概況は（表 1）のとおりである。

（表 1） 調査対象（卒業生）数、回収数、回収率

学 部	学 科	卒業生数	回収数			回収率
			記名	無記名	計	
社会学部	人間心理学科	107	98	0	98	91.6%
	ライフデザイン学科	62	54	0	54	87.1%
	経営社会学科	95	73	0	73	76.8%
メディアコミュニケーション学部	マス・コミュニケーション学科	123	109	0	109	88.6%
	情報文化学科	55	46	0	46	83.6%
全学合計		442	380	0	380	86.0%

II 調査結果

アンケート調査は 3 領域と総合評価の合計 34 項目の質問で構成され、質問 34 の理由の自由記述以外は、各質問項目について 5 つの選択肢から 1 つを選んでもらった。選択肢は次のとおりである。

- ⑤ あてはまると思う・そう思う
- ④ ややあてはまる・ややそう思う
- ③ どちらとも言えない
- ② ややあてはまらない・ややそう思わない
- ① あてはまらない・そう思わない

（表 2）に調査の集計結果（全学集計）を示した。

(表2) 平成23年度 卒業生アンケート集計結果 (全学集計表)

設 問	平均	回答件数					
		合計	5	4	3	2	1
1. 学修について							
1 英語の力がついた	2.5	378	26	46	116	88	102
2 海外研修は有意義だった(参加しなかった人は○をつけないで下さい)	3.8	174	80	41	21	9	23
3 大学から貸与されたパソコンをよく利用した	4.6	376	275	60	27	7	7
4 ワードやエクセルなどの基本的なソフトの知識が、MOS資格受験程度まで到達した	3.0	375	79	54	103	53	86
5 大学生活で教養が身についた	3.8	378	104	141	95	20	18
6 専門分野についての知識が身についた	4.0	378	116	169	65	16	12
7 卒業後の進路選択のための授業(講座)をより増やしてほしい	3.5	375	79	103	144	35	14
8 有料でも良いので資格取得のための講座をより開設してほしい	3.5	379	83	101	130	36	29
9 設置科目など、カリキュラムは満足できるものであった	3.7	378	78	156	112	26	6
10 シラバスを検討して履修科目を選んだ	3.8	379	132	116	78	35	18
11 履修モデルを参考にして履修科目を選んだ	3.9	378	139	117	69	33	20
12 図書館をよく利用した	3.9	377	140	120	64	34	19
13 高校までの勉強が足りなかった	3.7	378	124	116	81	32	25
2. 学生生活について							
14 在学中は、よく勉強した	3.2	379	47	108	129	72	23
15 在学中は、部活・クラブ中心の生活だった	2.4	376	68	37	48	49	174
16 在学中に多くの本(マンガ以外)を読んだ	3.1	379	64	90	94	73	58
17 大学生活を終えて、自分は成長したと感じた	4.0	376	125	151	82	12	6
18 就職活動を積極的に行った	3.4	379	110	86	81	57	45
19 大学通学のための家族の経済的負担が大きかった	4.0	378	173	106	60	20	19
20 学費をかせぐためのアルバイトが欠かせなかった	3.3	378	110	79	74	46	69
21 通学時間の長さや混雑が負担だった	2.8	377	78	56	80	56	107
22 よい友人ができた	4.5	378	262	70	37	4	5
23 他の学生とのトラブルが多かった	1.7	376	19	18	45	55	239
24 教員とのトラブルが多かった	1.7	377	17	17	49	55	239
25 職員とのトラブルが多かった	1.7	378	14	17	45	50	252
26 江戸川大学の学生のマナーは良いほうである	2.9	377	47	59	121	91	59
3. 施設・設備について							
27 教室などの教育関連施設に満足できた	3.5	379	72	131	113	49	14
28 図書館に満足できた	3.9	379	122	135	86	28	8
29 Web環境に満足できた	4.1	378	165	124	66	14	9
30 貸与パソコンのサポート体制に満足できた	4.0	379	149	124	67	26	13
31 体育関連施設に満足できた	2.9	376	52	49	149	50	76
32 食堂に満足できた	3.0	378	65	81	88	80	64
4. 総合評価							
33 江戸川大学に入学してよかった	4.2	373	164	128	71	7	3

5 あてはまる・そう思う 4 ややあてはまる・ややそう思う 3 どちらとも言えない 2 ややあてはまらない・ややそう思わない 1 あてはまらない・そう思わない

Ⅲ 調査結果の要点

アンケート調査の集計結果から、次のような特徴が判明した。

1. 「学修について」の質問に対する回答

- ・英語の力がついたという評価は前年度と同様の 2.5 ポイントとなっている。なお、学科ごとの数値は、人間心理学科 2.2、ライフデザイン学科 2.5、経営社会学科 2.5、マス・コミュニケーション学科 2.6、情報文化学科は 3.0 となっており、英語の科目が充実している情報文化学科の満足度は他学科よりも高く、人間心理学科で低いと言える。
- ・ワードやエクセルなどの基本的なソフトの知識が MOS 資格受験程度まで到達したという質問に対する評価は 3.0 ポイントと、前回と同様の結果である。学科ごとの数値は、人間心理学科 2.9、ライフデザイン学科 3.3、経営社会学科 2.9、マス・コミュニケーション学科 2.7、情報文化学科 3.4 となっており、情報関連の科目が充実している情報文化学科の満足度は他学科よりも高く、マス・コミュニケーション学科で低いと言える。
- ・大学から貸与されたパソコンの活用については相変わらず評価が高い。本学における ICT 環境の充実を物語る結果であり、今後とも本学の教育の特色の一端として重視すべきであろう。

2. 「学生生活について」の質問に対する回答

- ・よい友人ができたと思うかとの質問に肯定的な回答が多い。
- ・在学中は、部活・クラブ中心の生活だったと回答する学生は少ない。

3. 「施設・設備について」の質問に対する回答

- ・教室などの教育関連施設に満足できたという質問の評価は昨年度から 0.1 ポイント上がり 3.5 ポイントであった。学科ごとの数値は、人間心理学科 3.6、ライフデザイン学科 3.8、経営社会学科 3.4、マス・コミュニケーション学科 3.4、情報文化学科 3.5 となっており、ライフデザイン学科の学生の満足度が高く、マス・コミュニケーション学科、経営社会学科で低いと言える。
- ・食堂に満足できたという質問の 0.1 ポイント減少し、3.0 である。学科ごとの数値は、人間心理学科 3.2、ライフデザイン学科 2.9、経営社会学科 3.5、マス・コミュニケーション学科 2.7、情報文化学科 2.7、となっており、人間心理学科の学生の満足度は 0.6 ポイント上がっている。

4. 「総合評価」の質問に対する回答

- ・平成 23 年度の「33 江戸川大学に入学してよかったと」に対する回答の平均は 4.2 であり、評価は 0.1 ポイント上がっている。
- ・江戸川大学に入学してよかったという質問に対して、5 および 4 の評価は 292 件あり、そ

のように回答した理由については、友人や教職員に恵まれた旨の記述が多く、カリキュラムや講義に満足している回答も見られた。また、3の評価は71件あり、そのように回答した理由については、プラス・マイナス・どちらでもない、の3種類に分類できる。プラスの理由は、友人や教員と良好の関係がもてたことが挙げられており、マイナスの理由は、授業やカリキュラムに対する不満、または施設や就職に対する不満が挙げられていた。さらに、2および1の評価は10件あり、施設に対する不満、就職に対する不満のコメントが挙げられていた。

- ・江戸川大学に入学してよかったという質問の評価は、前回同様4.2ポイントとなっている。